

あなたに  
はつたつち

リレーエッセー⑤4

小さな町に住む幸せ

バブル絶頂期のころ、播磨町の人口も急増した。神戸、姫路への通勤、通学に便利なベッドタウンとして、また、人工島の大企業等への職住分離一体化への住みよい町づくりが成功したとも言える。

私は人口急増期に、県教委から、新設された播磨南中学校への勤務命令を受け、当時住んでいた尼崎市から播磨町に移り住んだ。

播磨町は県下でも一番小さな町、約9平方キロ！そのせまい町に3万4千5百人ほどの人が住んでいるのだから、町としての人口密度は逆に県下一だ。

町がせまいということは、別の見方からすれば、行政と住民

の距離が短いということだ。このことは行政、住民どちら側にも、ある種の緊張感が保たれ、いいことだ。

私はもともと神戸で生まれ、その後、成人してからは、姫路、西宮、尼崎と各地で暮らしてきたのだが、今住んでいる播磨町が私にはもともと住みよい所だと実感している。確かに播磨町には、大都市にある華やかさはない。しかし、小さい町にしかない人のぬくもりを感じさせるものがある。人と人のふれあいがある。町全体が一つの大きな家族と考えられないだろうか。

播磨町も今や成熟した町、町の文化水準のパロメーターといわれる公共下水道も着々と進み

土山駅周辺も大きく様変わりしようとしている。小さい町だからこそできる住民と行政の手づくりの町づくりだが、成熟のあとには、やがて確実に高齢化社会が訪れる。朝、家の前を通る通学姿の小学生、中学生の数も、最近めっきりと少なくなった。淋しいことだ。しかし、人間の英知は限りなく進歩していく。今のこの不況を乗り越えた時、再び私たちの住むこの小さな町も、新たな近代化した都市機能をもった町へと脱皮していく、そんな予感さえする。

私はよく自転車でも町内をサイクリングするが、播磨町の名を世間に知らしめたジョセフ彦の記念碑巡りやら大中遺跡の広い敷地内での散策が大好きだ。愛するこの小さな町を終のすみかとして、私は住んでいきます。



佐藤 昌平さん (北本荘)

趣味 読書、旅行

ぼくたちは、ちびっこパティシエ

蓮池保育園



おいしそうなケーキのできあがり

クリスマス前に3歳児は、カップ麺の空容器を使ってケーキ作りに挑戦しました。まず、トイレットペーパーを小さくちぎって、「うわあ、雪や」と部屋で雪合戦。丸めて「おだんご!」「ボールや」と十分に楽しんだ後、お湯・糊・木工ボンドを混ぜ合わせて特製クリームのできあがり。さあ!!腕まくりをして、「ちびっこパティシエたち」がケーキ作りにチャレンジです。「やわらかい」とベタペタとつけていくのですが、思うようにつかず、悪戦苦闘!

クリスマス前に3歳児は、カップ麺の空容器を使ってケーキ作りに挑戦しました。まず、トイレットペーパーを小さくちぎって、「うわあ、雪や」と部屋で雪合戦。丸めて「おだんご!」「ボールや」と十分に楽しんだ後、お湯・糊・木工ボンドを混ぜ合わせて特製クリームのできあがり。さあ!!腕まくりをして、「ちびっこパティシエたち」がケーキ作りにチャレンジです。「やわらかい」とベタペタとつけていくのですが、思うようにつかず、悪戦苦闘!

みんなで歌うと楽しいよ

播磨西幼稚園



音楽会。子どもたちは、おうちの人にかっこいいところを見せようと大はりきりです。

初めは、みんな好きなように鳴らして楽しんでた楽器も「順番にしたらいいねん」「そろえたらきれいなとちがう?」とどうやって音を出すと、きれいな音楽になるのか考えていきました。しっかりとそろってると、「きれいな音やった!」とにこにこ顔。お友だちと一緒に歌うことも、気持ちよく楽しくなってきました。笑顔で歌う魔法を先生にかけてもらって、いざ舞台へ。みんなの気持ちがしっかりとつながって、すてきな音楽をお客さんに聞いてもらうことができました。

西小ピカピカ運動がおわって

播磨西小学校



美しくなりました

「学校がピカピカになると気持ちがいいね」「給食時間、掃除をがんばった子の名前を放送でよんでもらえて嬉しかったよ」「学校だけでなく子どもたちの心もピカピカになったように思いました。」

西小では、2学期末に自分たちの学校を自分たちの力で美しくするために、企画委員を中心に全校生で、「西小ピカピカ運動」に取り組みしました。子どもたちは、掃除の時間熱心に掃除をし、各委員会は、業間や昼の休み時間、掃除ボランティアとして大活躍をしました。全校生の力で、階段・廊下・昇降口・トイレ・教室など学校全体をピカピカにすることができました。「西小ピカピカ運動」がおわって子どもたちの感想です。「ミニ」ミニ集会で、企画委員がトイレの掃除の仕方を劇にしてみせられたからよくわかったよ!

銀賞いただきました!

播磨南高等学校 箏曲部



第26回兵庫県高等学校総合文化祭

去る11月24日(日)、西宮鳴尾ホールで、兵庫県高等学校邦楽コンクールが行われました。私たちは「未来花」という曲で日々の練習の成果を發揮し、見事銀賞に輝きました。私たち箏曲部は、1年生4名、2年生10名で講師の菊多恵先生と共に毎日楽しくにぎやかに練習しています。

部活動としては、6月に校内文化祭・8月に東播磨高等学校演奏会・11月には播磨町中高音楽会・コンクール・1月に姫路キャスパホールにて初弾き会など行事がたくさんあります。春休み、夏休み、冬休みには播磨町デイスターセンターに訪問演奏に行き、利用者みなさんに演歌や童謡を聴いていただき、楽しいときをすごしています。これからも箏曲部は部員全員で力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

わんぱくはりまっ子



くろもと なつき 黒本 夏希ちゃん(3さい) あき 明希ちゃん(2さい) 野添 いつまでも仲良くね (お父さん・お母さんより)



このコーナーに出たいだく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象)広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

ジョナサンさんの播磨町日記  
寒いですね!こんにちは。僕の名前はジョナサン・バサロ、播磨南中学校の英語助手をしています。8月に播磨町へ来て働いています。8月からずいぶん様子が変わりました。例えば、甲高いセミの声で起きるかわりに、今は携帯電話の大きな音、ビートルズの'Let it be'で目覚めます。気候も変わりました。播磨町に来た夜はすごく暑く、湿度も高くて眠ることができず、エアコンの使い方もわからなかったことを覚えています。でも今は時々とても寒くて、夜にはよくこたつに入っています。いろいろな経験を通して、変化になれてきました。今までの日本や播磨町の生活は楽しいものでした。日本に来てから4か月以上がたち、幸運にも多くの方々と知り合い、彼らと共にいろいろな場所に行くことができました。地域や学校のイベントへの参加も大変楽しいです。それらに参加することは、新しい経験をつむということだけでなく、国際交流の機会にもなります。12月には、クリスマスを祝うためにカリフォルニアへ、友人や家族に話やおみやげ話をたくさん持って帰ることができました。昨年は僕にとって素晴らしい年でした!今年も皆さんと日本で共に過ごすのを楽しみにしています。またお会いしましょう。  
ジョナサン・バサロ